

## (6) 道路計画

### 検討の方向

- 1 上位計画(総合計画・都市計画マスタープラン・環境基本計画等)
  - ・放射環状幹線道路網の整備促進
  - ・市街地中心部(駅周辺)への通過交通の流入抑制
- 2 地域の課題
  - ・JRを横断する円滑な南北方向の交通流を確保
  - ・JR北部の円滑な東西方向の交通流を確保
  - ・駅周辺の円滑な交通流を確保
  - ・弁天踏切における安全な歩行者自転車動線の確保
- 3 将来交通量の把握と適切な交通流の確保
  - ・JR高槻駅北東地区のプロジェクトによる新たな交通負荷(H24年街開き予定)
  - ・第二名神自動車道の整備による新たな交通負荷(H30年供用予定)

国・府・警察との協議調整

### 整備の方向

- 1 高槻市の役割
  - ①古曽部西冠線(プロジェクト区域外)の整備
  - ②西国街道線の整備
  - ③弁天踏切の橋梁化
- 2 大阪府の役割
  - ④別所交差点の改良
  - ⑤枚方高槻線の改良検討
- 3 国(国土交通省)の役割
  - ⑥八丁畷交差点の改良

道路計画位置図

①古曾部西冠線の整備  
L=130m W=18m  
H19~22 C=約6億円

②西国街道線の整備  
L=280m W=18m  
H20~28 C=約18億

④別所交差点の改良

⑤枚方高槻線の改良検討

③弁天踏切の整備  
・橋梁形式で立体化  
H20~22 C=約9億円

⑥八丁囃交差点の改良

Aエリア  
Bエリア  
Cエリア

凡例

市施行路線



組合施行路線



協議中路線



供用中主要道路



整備中主要道路



## (7) 弁天踏切橋梁化計画

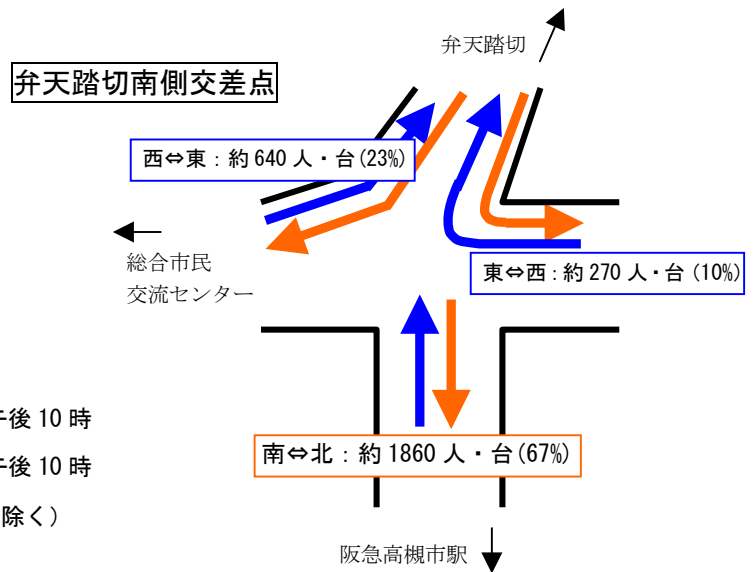
### 1 弁天踏切等通行量

	弁天踏切
歩行者(人)	729(651)
自転車(台)	1,819(1,968)
車椅子(台)	0(6)
バイク(台)	216(141)
合計(人・台)	2,764(2,766)

調査日：平成 18 年 10 月 19 日(木) 午前 7 時～午後 10 時

( )：平成 18 年 10 月 22 日(日) 午前 7 時～午後 10 時

\*当該踏切の通行規制：車両通行禁止（自転車は除く）



### 2 現状の課題

- ・踏切距離が長い [L=約 50 m]
- ・踏切遮断時間が長い [ピーク時 1 時間あたりの遮断時間 約 46 分(午前 8 時～午前 9 時)]
- ・踏切事故の発生

近年の主な事故：平成 13 年 3 月：高齢者が踏切を渡り切れずに特急にはねられ死亡

平成 18 年 6 月：踏切内で車椅子の男性が立ち往生

平成 19 年 3 月：踏切内で高齢者が渡り切れずに立ち往生

### 3 基本方針

- ・安心、安全、快適なまなびの軸に位置し、駅南北の歩行者ネットワークを形成
- ・自転車、歩行者を対象とした橋梁として整備
- ・バリアフリー等で円滑な移動を確保

### 4 基本設計の概要

種類：自転車歩行者専用道路

有効幅員：W=4 m (道路構造令に準拠)

線形(動線)：現行ルートを尊重

桁下高さ：軌道敷きから H=6.2m (鉄道敷きの建築限界 5.7m+余裕高 0.5m)

昇降方式：斜路付き階段(立体横断施設技術基準に準拠)

勾配：25% 垂直高 2.7m 以内で 2.3m の踊り場設置

階段(けあげ高さ：15cm、踏み幅：60cm)

スロープ(上りはベルコン方式)

エレベーター(内寸 1.5m × 2.5m：定員 15人)

## 5 整備スケジュール

- 平成 18 年度：基本設計、事前協議
- 平成 19 年度：計画協議
- 平成 20 年度：詳細設計、実施協議、協定締結
- 平成 21 年度：工事着手
- 平成 22 年度：工事完了、供用開始

### 基本設計の概要

